

## 報道各社御中 ← 環境省広報室

千葉県及び鳥取県で採取された渡り鳥糞便における鳥インフルエンザ検査状況  
等について  
(H26.12.26 15:00)

現時点での検査状況等について、以下のとおりお知らせします。

番号	都道府県	場所	種名	回収日	簡易検査	遺伝子検査	確定検査	監視重点区域指定状況
4	千葉県	長生郡長柄町	カモ類糞便	11/18 採取	陽性	11/20 陽性	11/22 高病原性鳥インフルエンザウイルス (H5N8 亜型) と判明	11/20 指定 1/3 0時解除見込み
5	鳥取県	鳥取市	カモ類糞便	11/18 採取			11/27 高病原性鳥インフルエンザウイルス (H5N8 亜型) と判明	11/27 指定 1/3 0時解除見込み

(これまでの事案については最後尾に掲載しております。)

## 【No.4の案件について】

千葉県で長生郡長柄町で行った糞便調査により、高病原性鳥インフルエンザウイルス (H5N8 亜型) が検出された件について、「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」(以下マニュアル)に基づき、千葉県の糞便採取地点の半径 10 kmを野鳥監視重点区域に指定し、野鳥の監視を強化してきたところです。

これまでのところ、野鳥監視重点区域の監視において異常は認められていません。このまま区域内での発生がなければ、マニュアルに基づき、糞便採取日(平成26年11月18日)から45日後の平成27年1月3日午前0時をもって、当該野鳥監視重点区域を解除する見込みです。なおお知らせします。

## 【No.5の案件について】

鳥取大学で鳥取県鳥取市で行った糞便調査により、高病原性鳥インフルエンザウイルス (H5N8 亜型) が検出された件について、「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」(以下マニュアル)に基づき、鳥取県の糞便採取地点の半径 10 kmを野鳥監視重点区域に指定し、野鳥の監視を強化してきたところです。

これまでのところ、野鳥監視重点区域の監視において異常は認められていません。このまま区域内での発生がなければ、マニュアルに基づき、糞便採取日(平成26年11月18日)から45日後の平成27年1月3日午前0時をもって、当該野鳥監視重点区域を解除する見込みです。なおお知らせします。

## 【参考：No.4の案件】

## 1 主な経緯等

## (1) 渡り鳥糞便の採取地点

千葉県長生郡長柄町(ながらまち)

## (2) 経緯

- 11月20日、千葉県より、千葉県が独自に行っている渡り鳥糞便調



査（11月18日に採取）の遺伝子検査により、カモ類の糞便2検体から、鳥インフルエンザウイルス（H5N8 亜型）遺伝子が検出された旨報告があった。

- 20日、糞便採取地点の周辺10km圏内を野鳥監視重点区域に指定。
- 21日、動物衛生研究所に確定検査のため検体を移送。
- 21日、確定検査の結果、高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5亜型）と判明。
- 21日、野鳥サーベイランスにおける全国の対応レベルを、国内単発発生時の「対応レベル2」から、国内複数箇所発生時の「対応レベル3」に引き上げ、監視を強化。
- 21日、野鳥緊急調査チームの派遣準備を開始。
- 22日、確定検査の結果、高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N8 亜型）と判明
- 23日～25日、野鳥緊急調査チームを現地に派遣。
- 1月3日（金）0時、野鳥監視重点区域を解除見込み。

【参考：No.5の案件】

## 1 主な経緯等

### (1) カモ類糞便の採取地点

鳥取県鳥取市

### (2) 経緯

- 11月26日22時、鳥取大学より、鳥取県において、大学で独自に行っている渡り鳥糞便調査（11月18日に採取）により、カモ類の糞便1検体から高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5亜型）が検出された旨報告があった。
- 27日、確定検査の結果、高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N8 亜型）と判明。
- 27日、糞便採取地点の周辺10km圏内を野鳥監視重点区域に指定。
- 28日～30日、野鳥緊急調査チームを現地に派遣。
- 1月3日（金）0時、野鳥監視重点区域を解除見込み。

## 2 今後の対応

- (1) 全国での対応レベルは、対応レベル3として監視を強化しており、引き続き監視を強化。
- (2) 「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」（[http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird\\_flu/manual/pref\\_0809.html](http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/manual/pref_0809.html) に掲載）に基づき適切に対応。

環境省はホームページで高病原性鳥インフルエンザに関する様々な情報を提供しています。（[http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird\\_flu/](http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/)）



平成26年12月26日（金）  
自然環境局野生生物課鳥獣保護業務室  
直 通：03-5521-8285  
代 表：03-3581-3351  
企 画 官：堀内 洋（内線6470）  
鳥獣専門官：根上 泰子（内線6676）

【参考】

今シーズンの鳥インフルエンザ検査状況等

番号	都道府県	場所	種名	回収日	簡易検査	遺伝子検査	確定検査	監視重点区域指定状況
1	島根県	安来市	渡り鳥糞便	11/3 採取			11/13 高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N8亜型）と判明	11/13指定 12/19 0時解除
2	東京都	江東区	ホシハジロ	11/13 回収	陰性	11/17 陽性	11/25 インフルエンザウイルスは検出されず	11/17指定 11/25 18時解除
3	宮城県	栗原市	オオハクチョウ	11/19 回収	陽性		11/27 インフルエンザウイルスは検出されず	11/19指定 11/27 11時解除
4	千葉県	長生郡 長柄町	カモ類糞便	11/18 採取	陽性	11/20 陽性	11/22 高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N8亜型）と判明	11/20指定 1/3 0時解除見込み
5	鳥取県	鳥取市	カモ類糞便	11/18 採取			11/27 高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N8亜型）と判明	11/27指定 1/3 0時解除見込み
6	東京都	大田区	ホシハジロ	11/26 回収	陽性		12/4 インフルエンザウイルスは検出されず	11/27指定 12/4 18時解除
7	鹿児島県	出水市	マナヅル	11/23 回収		11/27 陽性	11/29 高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N8亜型）と判明	11/27指定
8	兵庫県	南あわじ市	アイガモ（野生化個体）	11/29 回収	12/1 陽性		12/7 鳥インフルエンザウイルス（H1N1亜型）と判明	12/1指定 12/8 11時半解除
9	鹿児島県	出水市	環境試料（ねぐらの水）	12/1 採取		12/5 陽性	12/6 高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N8亜型）と判明	12/5指定
10	鹿児島県	出水市	ナベヅル	12/7 回収	陰性	12/7 陽性	12/10 高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N8亜型）と判明	12/8指定
11	岐阜県	可児市	オシドリ	12/12 回収	陰性	12/16 陽性	12/20 高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N8亜型）と判明	12/16指定
12	島根県	出雲市	マガモ	12/16 回収	陽性		12/24 インフルエンザウイルスは検出されず	12/16指定 12/24 15時解除
13	鹿児島県	出水市	ナベヅル	12/17 回収	12/17 陰性	12/17 陽性	12/19 高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N8亜型）と判明	12/17指定
14	鹿児島県	出水市	オナガガモ	12/20 回収	12/20 陰性	12/20 陽性	12/24 インフルエンザウイルスは検出されず	12/21指定 12/24 19時半解除
15	鹿児島県	出水市	ヒドリガモ	12/20 回収	12/20 陰性	12/20 陽性	12/24 インフルエンザウイルスは検出されず	12/21指定 12/24 19時半解除
16	鹿児島県	出水市	カルガモ	12/21 回収	12/21 陰性	12/21 陽性	12/25 インフルエンザウイルスは検出されず	12/22指定 12/25 18時45分解除
17	鹿児島県	出水市	ナベヅル	12/24 回収	12/24 陽性		確定検査機関で検査中	12/24指定

（太枠内下線が今回の情報です。）